

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-045986

(43)Date of publication of application : 18.02.1994

(51)Int.CI. H04B 7/26  
H04B 7/26  
H04B 7/26

(21)Application number : 04-196633 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND  
CO LTD

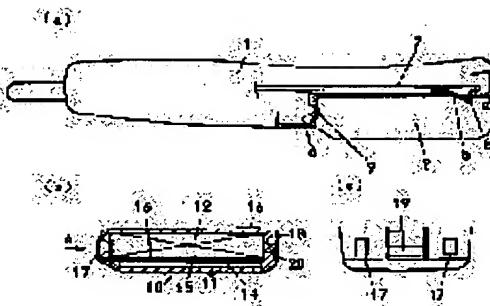
(22)Date of filing : 23.07.1992 (72)Inventor : OTANI DAISUKE

## (54) PORTABLE TERMINAL EQUIPMENT

### (57)Abstract:

PURPOSE: To improve a portability and a convenience by incorporating an individual receiver in a power source part, and integrating it with a portable terminal equipment main body.

CONSTITUTION: A power source part 10 in which a battery 12 and an individual receiving part 15 mounted on a substrate 14 are incorporated is housed in a power source housing part 2 formed at a portable terminal equipment main body 1 so as to be attachable and detachable, and a power source terminal 16 and an output terminal 17 are respectively brought into contact with a terminal 8 and a data receiving terminal 9 of the main device 1. Thus, the portability can be improved by allowing the portable terminal equipment main body to have the function of the individual receiver, and the convenience can be improved by adapting it in an area where a frequency band is different only by exchanging the battery part in which the receiver is incorporated.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.01.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-45986

(43) 公開日 平成6年(1994)2月18日

(51) Int. C1. 5 識別記号 庁内整理番号 F 1 技術表示箇所  
H 04 B 7/26 103 C 7304-5 K  
V 9297-5 K  
W 9297-5 K  
109 M 7304-5 K

審査請求 未請求 請求項の数 1

(全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-196633

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(22) 出願日 平成4年(1992)7月23日

(72) 発明者 大谷 大介

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

松下通信工業株式会社内

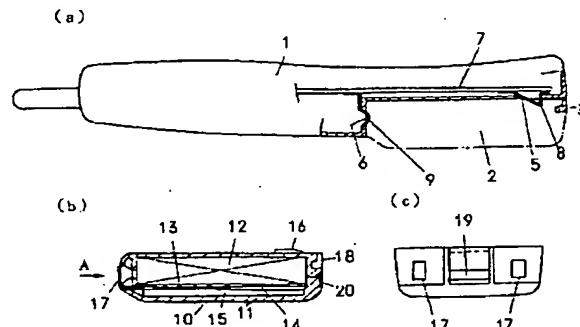
(74) 代理人 弁理士 小鍛治 明 (外2名)

(54) 【発明の名称】携帯端末装置

(57) 【要約】

【目的】 携帯性に優れて使用が容易であって、電源部の消耗や使用費用を節減する優れた携帯端末装置を提供することである。

【構成】 電池12と個別受信部15とを一体化した個別受信機内蔵電源10を携帯端末装置本体1に組込むことにより、個別受信機付きの携帯端末装置を構成する。



1 … 携帯端末装置本体

2 … 電池収納部

9 … データ受入端子

10 … 個別受信機内蔵電源

12 … 電池

15 … 個別受信部

17 … データ出力端子

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 携帯端末装置本体の電源収納部に個別受信機からのデータを受け取るデータ受入端子を設け、電源部に個別受信機を内蔵させた個別受信機内蔵電源を電源収納部に収納して個別受信機内蔵電源が備えたデータ出力端子をデータ受入端子に接触させたことを特徴とする携帯端末装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、一般家庭用及び業務用の通信手段に使用する携帯端末装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 図2は従来の携帯端末装置の構成を示している。図2において、20は装置本体であり、21は電源本体である。装置本体20には電源収納部22が形成してあり、この電源収納部22には爪部23と係止孔部24とが設けてあり、また、電源収納部22の底部には孔部25が形成してあって、この孔部25から基板26に実装された本体端子27が突出している。

【0003】 電源本体21は電池28を収容したケース29を備えており、このケース29に電源端子30が表出している。ケース29には係止凹部31とフック部32とが設けてある。

【0004】 そして、前記電源収納部22に電源本体30を収容してこれの係止凹部31に爪部23を係止すると共に、フック部32を係止孔部24に係止して電源本体30が装置本体21に取り付けてある。この場合、前記電池28から電源端子30に、さらにこの電源端子30に接觸している本体端子27を通じて装置本体20に電源の供給が行われる。

【0005】 上記のように構成された携帯端末装置は個別受信機とは独立した装置である。したがって、使用時は前記携帯端末装置と個別受信機の両方を携帯し、個別受信機で呼び出された後、携帯端末装置で連絡するという方法をとっていた。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来の携帯端末装置は受信機を持たないために、使用時は前記携帯端末装置と個別受信機の両方を携帯する必要があり、携帯性や使用勝手が不自由であるという問題点があつた。

【0007】 本発明は、このような従来の問題を解決するものであり、その目的とするところは、携帯性に優れて使用が容易であって、電源部の消耗や使用費用を節減する優れた携帯端末装置を提供することにある。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記の目的を達成するために、電源部が着脱可能な携帯端末装置本体の電源接続部に個別受信機からデータを受け取る端子を設

け、個別受信機を電源部に内蔵させることにより携帯端末装置本体と個別受信機とを一体化するようにしたものである。

## 【0009】

【作用】 かかる構成により、携帯性及び使用勝手の向上が図られる。また、着脱可能な電源部に個別受信機が内蔵されているために周波数帯の異なる地域での個別受信機の対応として周波数に合った個別受信機内蔵の電源部を交換するだけで適応できる。

## 【0010】

【実施例】 以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。図1(a)は本発明に係わる携帯端末装置の装置本体の一部破断した側面図、図1(b)は個別受信機内蔵電源の断面図、図1(c)は図1(b) A方向からの矢視図である。

【0011】 図中1は携帯端末装置本体であり、携帯端末装置本体1には電源収納部2が形成しており、この電源収納部2にはその端部側に爪部3が設けてあり、また、電源収納部2の底部には孔部5が形成しており、電源収納部2の側面部には孔部6が形成してある。そして、前記孔部5から基板7に実装された本体端子8が突出しており、前記孔部6から基板7に実装されたデータ受入端子9が突出している。

【0012】 個別受信機内蔵電源10はケース11を備えており、このケース11内には電池12とこの電池12と隔離のためのシート13を挟んで隣接する基板14上に実装された個別受信部15とが内蔵してある。そして、ケース11の内面側には電池12に接続された電源端子16が表出しており、ケース11の側面側には電池12に接続されたデータ出力端子17が表出している。ケース11には係止凹部18とフック部19と充電端子20が設けてある。

【0013】 そして、前記電源収納部2に個別受信機内蔵電源10を収容して、これの係止凹部18に爪部3を係止すると共に、フック部19を電源収納部2の側面部に嵌合して個別受信機内蔵電源10が携帯端末装置本体1に取り付けてある。

【0014】 この場合、前記電源端子16は本体端子8に接觸し、さらにデータ出力端子17がデータ受入端子9に接觸している。

【0015】 次に上記の実施例の動作を説明する。携帯端末装置本体1に個別受信機内蔵電源10が組み込まれた状態のとき、個別受信部15で受信したデータがデータ出力端子17を通じてデータ受入端子9に伝送され、さらに基板14のパターンによって携帯端末装置本体1に供給される。

【0016】 また、携帯端末装置本体1への電源の供給は、前記電池12から電源端子16に、さらにこの電源端子16に接觸している本体端子8を通じて行われる。

【0017】 このように、上記の実施例によれば、電池

50

12と個別受信部15とを一体化した個別受信機内蔵電源10を携帯端末装置本体1に組込むことにより、個別受信機付きの携帯端末装置を構成するという利点を有する。

【0018】また、個別受信機内蔵電源10が携帯端末装置本体1に着脱できるため、異なる周波数帯への対応は予め前記周波数帯対応にセットされた個別受信機内蔵電源10のみの交換で済むという利点を有する。

【0019】

【発明の効果】本発明は上記の実施例より明らかなるように、携帯端末装置本体の電源収納部に個別受信機からのデータを受け取るデータ受入端子を設け、電源部に個別受信機を内蔵させた個別受信機内蔵電源を電源収納部に収納して個別受信機内蔵電源が備えたデータ出力端子をデータ受入端子に接触させることにより、携帯端末装置本体に個別受信機の機能を持たせることができ、携帯性及び使用勝手の向上を図るという効果があるし、また、着脱可能な電源部に個別受信機が内蔵されているために周波数帯の異なる地域での個別受信機の対応として周波

数に合った個別受信機内蔵の電源部を交換するだけで適応できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】(a)は本発明に係る携帯端末装置の装置本体の一部破断した側面図

(b)は個別受信機内蔵電源の断面図

(c)は(b)A方向からの矢視図

【図2】(a)は従来の携帯端末装置の装置本体の一部破断した側面図

10 (b)は電源の断面図

【符号の説明】

1 携帯端末装置本体

2 電源収納部

9 データ受入端子

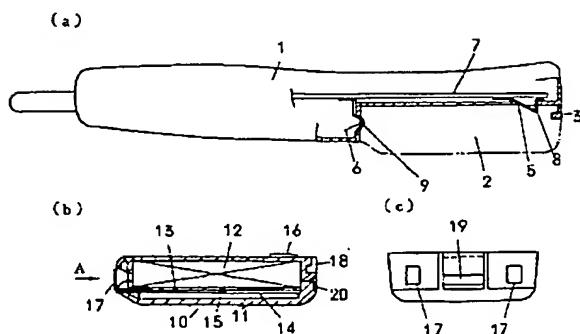
10 個別受信機内蔵電源

12 電池

15 個別受信部

17 データ出力端子

【図1】



- 1 …携帯端末装置本体
- 2 …電源収納部
- 9 …データ受入端子
- 10 …個別受信機内蔵電源
- 12 …電池
- 15 …個別受信部
- 17 …データ出力端子

【図2】

